

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公表番号】特表2008-500279(P2008-500279A)

【公表日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2006-554230(P2006-554230)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 D

C 1 2 P 21/08

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 25/28

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月16日(2008.1.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

精製抗A抗体を含有するヒト患者に投与するのに適した医薬組成物であって、該抗体が、Aペプチドを内在的に産生する細胞株内で発現され、このような細胞株から精製された該抗体が、検出不能な濃度または許容可能な低いレベルの内在的に産生されたAペプチドを有する医薬組成物。

【請求項2】

抗A抗体を製造する方法であって、

a. Aペプチドを内在的に発現する細胞において該抗体を発現し；

b. 該細胞を培養するのに用いた培地に、-または-セクレターゼ阻害剤を加え；次いで

c. 検出不能な濃度または許容可能な低いレベルの内在的に産生されたAペプチドを有する該抗体を、培養培地から精製する；

ステップを含む方法。

【請求項3】

-セクレターゼ阻害剤を該培地に加える請求項2に記載の方法。

【請求項4】

該細胞が、哺乳動物細胞である請求項2または3に記載の方法。

【請求項5】

該細胞が、ハムスター、ヒトまたはマウス細胞である請求項2または3に記載の方法。

【請求項6】

該細胞が、CHO、HEK293PER.C6およびNS0細胞から選ばれる請求項2または3に記載の方法。

【請求項 7】

抗 A 抗体を製造する方法であって、

a. A ペプチドおよび - セクレターゼを内在的に発現する細胞において該抗体を発現し；

b. このような細胞内で - セクレターゼ活性を増加させ；次いで

c. 検出不能な濃度または許容可能な低いレベルの内在的に產生された A ペプチドを有する該抗体を、細胞を培養するのに用いた培地から精製する；

ステップを含む方法。